

岡山学芸館 第115回 親学講座

令和2年11月7日(土) 13時30分～ 会場：スクールガーデン

森 靖喜 学園長の日本の近現代史『学び直し講座』

明治維新から昭和 20 年敗戦までの日本の近現代史を、肯定的に先人は「立派だった」と評価するか、批判否定的に「悪逆非道の侵略者・悪者国家」と見るか。その判断基準は、一にかかって「あの戦争」の評価にかかる。「祖国防衛戦争」なのか「アジア侵略、世界制覇の戦争」なのか。

戦後 70 年間私たちは、学校でアメリカ製『太平洋戦争史＝日本悪逆侵略国家論』を教えられたが、過去 500 年の世界の歴史をふり返れば、白人による有色人種の虐殺・略奪・収奪の実態が見えてくる。日本は未来永劫、子や孫に「日本は悪者」と教え続けるのか。日本人は「有色人種」であり、白人欧米から差別され続けている事を知らねばならない。

講師略歴 本校学園長 森 靖喜 (もり やすき)



昭和 16 (1941) 年、岡山市生まれ。明治大学大学院政治学専攻修了。

昭和 43 年、私立金山学園高等学校(現 岡山学芸館高等学校)に教諭として勤務。昭和 61 年、同校校長、平成元年、学校法人森教育学園理事長を兼務。平成 12 年、岡山市教育委員長。平成 18 年、岡山県私学経営者協議会会長。平成 22 年から岡山県私学協会会長。平成 23 年 7 月より『産経新聞』岡山版に毎月一回「現代(いま)を問う」と題する寄稿を続けている。平成 26 年、教育再生をすすめる全国連絡協議会世話人、岡山正論友の会初代会長に就任。「反自虐史観」「保守的教育観」に基づく私立学校教育の可能性を奉じて、日本の教育改革に邁進。各地で教育講演会の講師を務めている。平成 29 年 4 月、瑞宝小綬章を受章。主な著書：『奇跡の学校』(PHP 研究所)、『独自の価値観教育』など

岡山学芸館 第116回 親学講座

令和2年11月21日(土) 13時30分～ 会場：西大寺公民館(西大寺市民会館)
岡山市東区西大寺向州 1-1

第1部 講演 『なぜ日韓は和解できないのでしょうか』

- なぜわたしは日本を好きになったのか - 』

講師 拓殖大学国際学部教授 オソンファ 呉 善花 氏

～ 親日家でいらっしゃる呉先生から

日韓関係についてわかりやすくお話しいただきます～

韓国(済州島)出身の評論家。4年間志願で女子軍隊生活を送る。1983年に来日し、大東文化大学(英語学)、東京外国語大学大学院修士課程(アメリカ地域研究)修了。『攘夷の韓国 開国の日本』(山本七平賞受賞)など著書多数。執筆活動の他、評論家、拓殖大学国際学部教授としても活躍中。



第2部 音楽鑑賞 『西大寺に響く美しいハーモニー』

- 本校合唱部による素敵な歌声をお届けします - 』

指揮 川崎 泰子 (オペラ歌手)